

寝不足のまま、新幹線のグリーン車で東京から新神戸へ向かった。真後ろが空席だったこともあり、品川から乗り込むや否や座席を深く倒し眠り込んでしまった。

「席、起こしてもらえますか？」

冷たく放たれた言葉にハッと目覚まし、座席をすぐさま垂直に戻す。新大阪で後席に乗ってきたのは小さなバッグを携えた若い女性だった。新神戸まではあと10分。だが、垂直の座席のまま過ごすのもつらいので、

「座席を少し倒してもいいですか？」

優しく尋ねた。返事はない。再度丁寧に尋ねる。彼女は一瞥もくれずに無言で車窓から外を眺めることで拒絶の意思を私に伝えた。

はて？ 座席をリクライニングする権利はどこまで主張して良いものなのだろうか？ そもそもリクライニングすることははしたない行為なのだろうか？

常識的な話をする、間違いないリクライニングする権利は席に

リクライニングの権利

随想

田中 知之(FPM)

座っている者にある。しかし小さな赤ちゃんを連れていたり、大きなトランクを足元に置かざるを得なかったりする状況で、前席の乗客に深々とリクライニングされる困ってしまうのも事実だろう。

さらに京都生まれの私は、小さい頃から周りの人に決して迷惑をかけるな、と徹底的に教わり育った。もう亡くなってしまった父がある日の早朝に体調を崩し、救急搬送されたのだが、近隣の人たちが目を覚ますからサイレンは鳴らさないで、と救急隊員に懇願していた。死に瀕しても、やせ我慢するのが京都人なのだ。

また先日、パリ行き旅客機で乗り合わせた世界的に有名な女性デザイナーは、12時間を超えるフライト中、ただの一度も座席を倒さなかった。ストイックなイメージ通りで素敵だなあと思った。

結局、私は黙ってほんの少しだけ座席をリクライニングさせた。
(たなか・ともゆきDJ・プロデューサー)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前

① 女性にリクライニングを起こすように頼まれたとき、筆者はどうしましたか。

② 筆者が女性に座席を少し倒してもよいか尋ねたとき、女性はどうしましたか。

③ この記事を読んだ感想を書きましょう。